

シン・いばらきメシ総選挙 2026

日立市代表グルメが
スイーツ部門で

グランプリを獲得



10月10日から12日にかけて県三の丸庁舎(水戸市)で開催された、県の「最強ご当地グルメ」を決定するイベント「シン・いばらきメシ総選挙 2026」において、スイーツ部門の日立市代表メニュー「もっちりんごSUN ～チーズケーキのベグルサンド～」が見事グランプリに輝きました。一般料理部門の代表メニュー「会瀬潮あん天井 ～漁港直送、とろ旨あん～」も、3日間で1,200食を売り上げる人気ぶりで、ファイナリスト(上位10市町村)に選出されました。グランプリとなった「もっちりんごSUN」は、今後、さまざまなイベントで茨城県のご当地グルメとしてPRされます。



日立市の代表メニューについて詳しくは市HPをご覧ください



日頃の練習の成果を発揮したい バドミントンで全国に挑む



9月28日、第35回全国小学生バドミントン選手権大会に出場する大沼小学校6年生の渡邊雅さん(日立さくらKBC所属)が市役所を訪れ、教育長に大会への意気込みを報告しました。渡邊さんは、7月12日に行われた県予選会を勝ち抜き、全国大会の出場権を獲得。「出場を決められてうれしい。これまでの練習の成果を発揮できるようにがんばります」と話しました。全国大会は、12月23日からアダストリアみとアリーナ(水戸市)で開催されます。

リヴァーレ茨城 日立市 PR 大使 熱いプレーで感謝を届けたい



9月28日、バレーボールSVリーグ・Astemo リヴァーレ茨城の「日立市 PR 大使」に就任した濱村ゆい選手と徳本歩未香選手が市役所を訪れました。「いつも温かい声援を送ってくださる皆さんに感謝を届けられるよう、これからも熱いプレーをお見せしたい」と今シーズンの抱負を話す二人は、市長との談話後、市役所内でサイン会を実施。訪れた方たちと交流しました。リーグ戦は日立市でも行われます。ぜひ会場でリヴァーレ茨城を応援しましょう。

夢はオリンピック 水泳バタフライで全国総体3位



9月30日、水泳の全国大会に出場した台原中学校3年生の佐藤奏輔さんが市役所を訪れ、教育長に結果を報告しました。佐藤さんは、8月17日から19日まで開催された全国中学校体育大会水泳競技大会に出場。県大会で大会新記録を残した実力を発揮し、100m バタフライで3位、同200m で5位入賞を果たしました。「ナショナル選手に選ばれるようにタイムを伸ばし、将来はオリンピックに出場したい」と話す佐藤さん。今後の更なる活躍が期待されます。

日立の自然と人の温かさに触れる ひたちファンクラブが稲刈り体験イベントを実施



9月13日、中里地区で、ひたちファンクラブ主催の「稲刈り体験イベント」が行われました。日立の豊かな自然や地域の人とのふれあいを楽しみながら、収穫の喜びやおいしく食べる楽しさ、農業の魅力を感じてもらおうと企画された本イベント。親子など約40人が参加し、地元農家の方に教えてもらいながら、泥だらけになって稲刈りに挑戦しました。作業後は、地元で収穫された新米のおにぎりをみんなで味わい、参加者同士の交流を楽しみました。



ヘルメットが大切な命を守る 被害者遺族の講演会を開催



9月17日、日立シビックセンター音楽ホールで「交通事故被害者遺族講演会」が開催されました。自転車乗車中の交通事故により高校生のお子さんを亡くした渡邊明弘さんが講師を務め、市内の高校生など約700人が参加。渡邊さんは「事故によって一瞬にして家族の平和が奪われ、長く苦しい道を歩むことになった」と当時を振り返りながら、「ヘルメット着用により、大切な命を守ることにつながっていく」と参加者に語りかけました。

居心地が良く歩きたくなる『まちなか』を目指して 公園で居場所づくりイベントを開催



9月23日、まへのうち児童公園を中心に、居場所づくりイベント「チャレンジパーク ナイル」が開催されました。日立駅周辺の活性化を目的とした団体、HITACHI BLUE:Mが主催し、移動式子どもの遊び場や廃材を使った椅子づくり、音楽ライブ、会場周辺の歴史にまつわる写真の展示などを実施。会場には、親子連れからシニア世代の方まで、幅広い年代の方が集い、思い思いの時間を過ごしていました。

9月30日は「くさゼロの日」 市民・企業・行政が協働で環境美化活動を実施



市では、毎年9月30日から1か月間を環境美化強調月間とし、市民・企業・行政が一体となって環境美化活動に取り組む「ひたち・くさゼロ大作戦」を行っています。今年も、期間中にコミュニティや企業などが市内の道路や公園などでボランティア清掃を実施。「くさゼロの日」と位置付けている9月30日には、市と日立市建設業協会が池の川さくらアリーナ前の市道24号線などで除草やごみ拾いを行いました。